

「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」 活動報告(平成15年度)

1. 第12回総会

6月7日(土) 富山市の安田生命ホールで会員約150名が参加して開催されました。

冒頭、高澤会長は「地球の未来のために一人ひとりがライフスタイルを見直す必要がある。現代社会で電気の果たす役割は大きい。なかでも二酸化炭素を出さない原子力発電は環境保全の面からも有用で、安全運転に努めてほしい。」と強調されました。

引き続き開催された講演会では、講師に神津カンナさんを迎え、「選択すること～冷静に、そして思いを込めて～」と題してお話いただきました。神津さんは、海外での豊富な経験から知り得た世界のエネルギー事情についてユーモアを交えて紹介し、「現在、さまざまな情報があふれているが、よいものや必要なものをきちんと自分の中にとどめて吸収し、自らのライフスタイルを考えていくことが大切」と語られました。



神津 カンナ さん

2. 秋の施設見学会

平成15年11月13日(木) 会員34名が参加して、福井県敦賀市にある核燃料サイクル開発機構の高速増殖炉「もんじゅ」を訪ね、PR館、展望台、シュミレーター室、ナトリウム取扱研修施設などを見学しました。参加者は、将来のエネルギーを確保していく上で、ウランを有効活用する必要性や原子燃料サイクルの研究開発の重要性について認識を深めるとともに、会員相互の交流を深めました。

当会では、講演会、施設見学会などの行事を通じて、環境問題やエネルギーについて理解を深めるとともに、会員相互の親睦を深めることを目的に活動しています。活動内容に対するご要望がございましたら、また、当会への入会に関心のある方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせください。

3. わいわいトークサロン

「基本的なことからわかりやすく勉強できる機会がほしい」という会員の声にこたえ、新しい活動として「わいわいトークサロン」と称した勉強会をスタートさせました。

講義では、北陸電力地域広報部エネルギー広報チームが講師を務め、「富山県の電気使用量は何位？」などといった身近で親しみが持てるクイズを交えながら、暮らしの中で電気がどのように使われているかを勉強したり、手回し発電機を使いながら発電の仕組みを改めて学んだりしました。その後のテーブルトークでは、会員間で活発な意見が交わされました。



講義風景



自分たちでもできること、日々省エネを心がけたいです

環境問題への取り組みは一人ひとりの心がけが大切ですね

原子力発電所は“こわい”というイメージがかなり強かったけれど、原子炉の安全対策を学んで少し安心しました

- ・第1回 テーマ「エネルギーをもっと身近に感じよう！」
(平成16年1月24日(土) 会場：とやま自遊館、参加者28名)
- ・第2回 テーマ：「環境問題について語り合おう！」
(平成16年2月14日(土) 会場：とやま自遊館、参加者28名)
- ・第3回 テーマ：「一緒に考えてみませんか、エネルギーの今と未来。」
(平成16年3月6日(土) 会場：とやま自遊館、参加者21名)

発行元・お問い合わせ先

「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」

(事務局) 北陸電力株式会社 地域広報部エネルギー広報チーム

〒930-8686 富山市牛島町15-1

TEL 076-441-2511(代)(内線:2631~2635) FAX. 076-405-0111